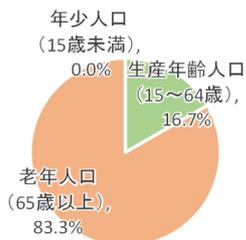


# 数久谷 (すくのたに)

人口・世帯数等 (令和5年4月)	
人口	24人
世帯数	14世帯
高齢化率	83.3%

### 年齢別人口割合



### 人口・世帯数の推移 (過去10年間)



### 区域の概要

**立地** 集落は、周囲を山に囲まれた標高320~340mに位置する。農業を中心とした小山村である。熊谷川に注ぐ数久谷川の上流にあり、狭い道路を北進すると県道久斗山今岡線に通じ、南西進すると国道9号(山陰道)に通じる。

**地名由来** 不明。

**歴史等** 数久谷は古記録に乏しく、弘治3年(1557)の『但馬国にしかた日記』にもその名はなく、江戸時代中期以前のことは不明である。湯村の出村という伝承もあるが、江戸時代には歌長村の枝郷だったことや、住民の姓が歌長に多い姓であることなどから、歌長からの移住者の村の可能性が高い。

一区として、独立して村運営をするようになったのは、明治37年(1904)12月27日からである。

湯村に通じる道は急坂で湯峠と呼ばれ、往時は湯村から数久谷、熊谷、久斗山、長井、豊岡・京都方面に通じる街道であった。久斗山、金屋、熊谷の人々が牛市に行く際にも利用されて賑わったという。戸数は明治期以降、昭和の後半まで増減なく18戸であった。〔温泉町郷土読本〕

### これまで把握している文化財

文化財の件数 10件 (うち指定等文化財 0件)

大分類	中分類	小分類	把握件数	指定等
有形文化財	建造物	建築物	0	0
		石造物	0	
		工作物・その他の構造物	0	
	美術工芸品	彫刻	3	3
		絵画	0	
		工芸品	0	
		書跡・典籍	0	
無形文化財	民俗文化財	古文書・歴史資料・考古資料	0	0
		音楽	0	
		演劇	0	
		工芸技術	0	
		その他の無形文化財	0	
		信仰の場	1	
	無形の民俗文化財	祭具	0	7
		民具	0	
		その他の有形の民俗文化財	0	
		年中行事・民俗芸能	5	
記念物	遺跡	民俗技術	0	0
		食文化	0	
		民間話・俗信	1	
		その他の無形の民俗文化財	0	
		散布地・集落跡・生産遺跡	0	
		古墳・その他の墓	0	
	名勝地	城館跡・寺社跡	0	0
		街道・古道等	0	
		戦争遺跡	0	
		その他の遺跡	0	
	動物・植物・地質鉱物	山岳・高原・丘陵	0	0
		海岸・海浜・島嶼	0	
		河川・瀧・渓谷・湖沼	0	
文化的景観	公園・庭園	0	0	
	その他の名勝地	0		
伝統的建造物群	動物	0	0	
	植物	0		
	地質鉱物	0	0	
	生活・生業・風土により形成された景観地		0	
	宿場町・城下町・農漁村等		0	



数久谷のお大師さん



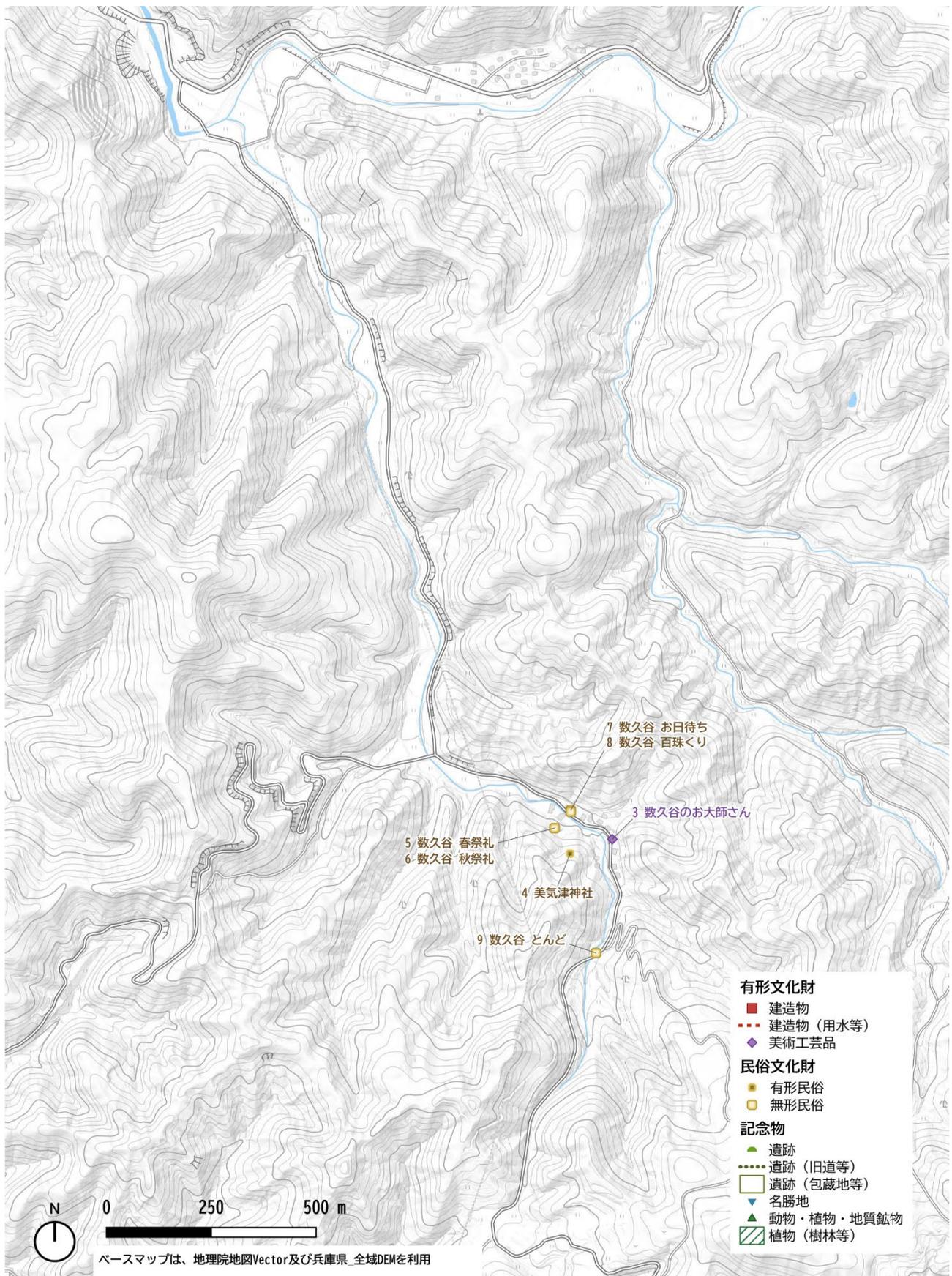
数久谷の地蔵



美気津神社

※人口・世帯数は住民基本台帳(令和5年4月現在)による。

## 文化財の分布



※所在地の掲載可能なものに限る

## 4-04 数久谷

### 文化財の一覧

#### ■ 有形文化財／美術工芸品

分類	番号	名称	概要
彫刻	1	数久谷の地藏	村の上に位置する。
	2	数久谷の無縁仏	概要不明
	3	数久谷のお大師さん	40×15cmの石像（大師像）。工事のために移転されている。光背が損傷している。

#### ■ 民俗文化財／有形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
信仰の場	4	美気津神社	村の西部中央に位置している山にある神社。

#### ■ 民俗文化財／無形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
年中行事・ 民俗芸能	5	数久谷 春祭礼	集落南側に位置している高山地区の氏神「美気津神社」で宮司が祝詞を上げ、榊を奉納する。50年以上前には榊を担ぎ、村中を練り歩いたこともあったが現在は神社での奉納のみになっている。
	6	数久谷 秋祭礼	春祭りと同様で高山の「美気津神社」の分社であるこの神社は高山地区と同じ日程で秋祭りが行われる。
	7	数久谷 お日待ち	数久谷の住民が公民館に集まり、昔は夜を徹してこもり明かす行事。
	8	数久谷 百珠くり	大きな数珠を膝にのせて順に数珠の玉を送りながら念仏を唱える。昭和の初めには男女混ざって行っていたが現在は女性のみになっている。
	9	数久谷 とんど	昔は1月15日に行っていたとんどだが、現在は1月7日に行い、正月飾りや書初めの書などを燃やし、その年の無病息災や五穀豊穡を祈願する。
民間説話・ 俗信	10	数久谷に伝わるお話	※『但馬・温泉町の民話と伝説』（昭和59年、喜尚晃子編纂、手鞠文庫発行）p146参照

